

2016年度 特定課題研究助成費科目説明・使途範囲表（新任の教員等）

※研究計画に直接関係しないものは支出できません。

科 目	使 途 内 容	備 考
用品費	1件または1組の価格が10万円以上30万円未満かつ耐用年数1年以上の物品	1. 申請研究に直接関係があり、必要不可欠な物品を購入すること。 2. 購入した物品を学外に設置することはできない。 3. 特定課題研究助成費の研究期間終了後も、購入した物品の維持費等が必要な物品の購入はできない。 4. 購入した物品は「調達規程」により登録するので、品名、数量、メーカー、規格等明確にする。 5. 私費や他の研究費と合算して購入することはできない。
消耗品	価格が10万円未満または耐用年数が1年未満の物品	調達規程に準じる。
図書資料費	図書資料費は、用品扱いのものと、消耗品扱いのものにわけられる	1. 用品扱いのもの…10万円以上の図書資料で保存期限10年 ※私費や他の研究費と合算して購入することはできない。 2. 消耗品扱いのもの…10万円未満の図書資料 3. ビデオテープ、CD-ROM、データベース、マイクロ資料等で何らかの情報が入ったものは、すべて図書資料費となる。
通信運搬費	研究上必要な連絡費	切手、宅配便、通話料、FAX使用料等
印刷製本費	研究上必要な印刷費	コピー、DPE（フィルムは消耗品）、論文等別刷印刷
委託費	法人に依頼する翻訳料等	調達規定に準じる。 依頼書等（依頼内容を証明するもの）、成果物1部
旅費交通費	交通費・宿泊料・日当 （研究代表者の旅費のみ支出可）	「学会・研究出張に係る旅費等に関する運用・算出基準」、 「特定課題研究助成費Q&A」の「Q25」による。
手数料報酬※1	講師謝礼、翻訳料、ヒアリング・アンケート・被験者等謝礼	内容がわかる証ひょうを添付すること。
賃金（人件費）※2	研究補助者（RS）	勤怠管理ができる本学学生が望ましい。
雑費	計算機使用料、振込手数料、学会参加費等	内容がわかる証ひょうを添付すること。
原則として支出できないものの例	クーラー、扇風機、ストーブ、冷蔵庫、衛星放送アンテナ、TV、プロジェクター、DVDプレイヤー等、電気スタンド等家電製品、書棚等什器類、椅子、高級万年筆、名刺、印鑑・朱肉、名前入り封筒・用箋等、レコード・CD等音楽ソフト、ポット、FAX、電話機、各種学校授業料、学会年会費、プロジェクト研究所参加費 等	

【注意事項】次の項目については研究推進部ホームページを参照してください。

※1 手数料報酬：「受託事業等に係わる人件費および諸手当の支払いに関する要綱第4条 別表3」

※2 賃金（人件費）：「研究補助者規程による」

●特定課題研究経費と他の経費との合算使用、費目間流用制限、その他不明な点は「特定課題研究助成費Q&A」を参照してください。

●会合費は支出できません。

理工学術院
基幹理工学部
劉 言殿

研究推進部長

2016年度特定課題研究助成費（新任の教員等）に係る
交付決定ならびに使用計画書の提出について（通知）

標記について、貴殿より申請があった研究計画は、2016年度特定課題研究助成費審査委員会（第4回）の答申を受け、学内意思決定機関の決裁を経て採択され、下記のとおり交付決定されましたので通知いたします。

つきましては、別紙「2016年度特定課題研究助成費使用計画書」（様式1-4）を所属箇所事務所までご提出願います。

※研究推進部ホームページ（<http://www.waseda.jp/rps/fas/document/style5.html>）からもダウンロードできます。

※使用計画書の提出をもって、研究費の執行が可能となります。

「使用計画書」は、別添の「特定課題研究助成費科目説明・使途範囲表」を参考にできるだけ具体的に記入してください。特定課題研究助成費（新任の教員等）は個人で行う研究に対して助成するものです。共同研究者と研究組織を構成することはできませんのでご注意ください。

本研究助成費の執行に際しては、「使用計画書」の研究経費使用内訳に従い執行いただきますようお願いいたします。なお、本研究助成費は研究期間内に使用計画の変更が生じた場合であっても変更届の提出は不要です。

所属事務所への提出期限

2016年 6月 6日（月）

記

1. 申請内容

研究課題名：分位点回帰を用いた時系列解析とその応用に関する研究

申請額：300千円

2. 交付決定内容

課題番号：2016S-063

交付決定額：180千円※

※交付決定額は研究計画の審査結果により、申請額に対して減額されている場合があります。

研究期間：2016年6月1日～2017年3月31日

ただし、年度末の経理処理の締切日については、所属箇所事務所からの通知に従ってください。

3. 審査意見

■研究目的の記述は明解であり、問題設定・研究計画も適切と思う。

■旅費・交通費に90%近く使用するが、その内容が明瞭であり、成果が期待できる。

以上

担当：研究支援課 平井・藤井
e-mail: tokuteikensi@list.waseda.jp